バリアフリーをこえて 浦田充 桶川市 市政レポート



2026.11.12発行 No.2026-4（通算27号） 編集・発行:うらたみつるバリアフリーの会 〒363-0022桶川市若宮2-25-5 048－613－6966 start@urata-mitsuru.xyz

災害弱者支援を早急に

災害発生前や発生時に、自力で避難したり避難生活を送ったりすることが難しい要配慮者。設備の整った福祉避難所にすぐに避難できない桶川市では、要配慮者は最初に避難する一般避難所に受け入れてもらえるのでしょうか。一次避難所となる一般避難所で受けられる支援（主に設備面）について一般質問で確認しました。

「非常用電源」、他の避難者と仕切れる「パーテーション」、要配慮者用スペースの確保状況を検証しました。非常電源とパーテーションは、防災倉庫で一括管理されており、『必要に応じて』各避難所へ配置することになっているとのことです。また、要配慮者向けのスペースは、「要配慮者及びそのご家族や介助者の人数など、必要となる環境に応じて確保してまいりたい」と答えました。

これでは、ただでさえ混乱しているときに、避難の様子を見ながら、現場でその都度判断することになってしまいます。このような行き当たりばったりな方針は真剣さが感じられません。

要配慮者が市に提出している避難等に必要な事項を記載した個別計画というものがあります。本来は、この「個別計画」を参考にすれば、避難所ごとに必要なものはある程度事前に把握や準備ができるはずです。しかし、答弁を聞く限り、ほとんど個別計画を活用できていないと判明しました。

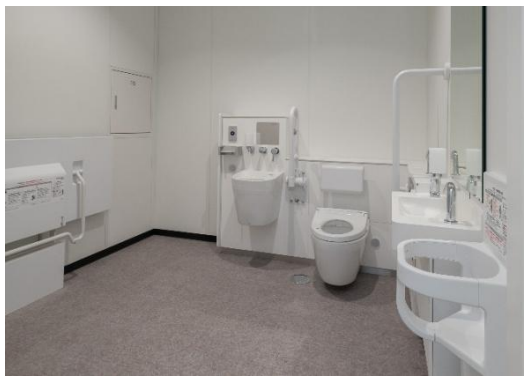
桶川市は、個別計画の内容が不完全なものが多いので事前の把握は難しいといった趣旨の言い訳をしました。



△指定避難所の朝日小学校。避難所の開設時点では、要配慮者用スペースの面積すら未定。これで、要配慮者は安心して避難できるのか。

不完全な計画なのであれば、それを改めるべきです。4,5年前に個別計画作成についての案内が届いて以降、行政からの連絡や支援などは一切ありません。提出を促す、あるいは更新などの案内もありません。市は、ようやく、この個別計画を完全なものにすることが課題と認識しました。課題解決に向け、個別計画作成に関わる方へのワークショップや勉強会の開催を強く求めました。

桶川消防署西分署新庁舎完成





西分署のバリアフリートイレ（左）と正面玄関（右）。

老朽化や周辺道路の冠水に悩まされていた西分署が移転しました。先月、新施設の落成式に参加しました。

女性職員の働きやすい環境が整備されたほか、ユニバーサルシートやオストメイト設備を備えたバリアフリートイレ、市民が研修等で集まれる多目的室もあり、より身近な使いやすい消防署となっています。

学校のタブレット端末活用の現在

タブレットPCを使った授業の現状を把握するため、建設文教常任委員会で加納小と東中を訪れました。

例えば、今回見学した加納小の体育の授業では、自分の動作をタブレットで動画撮影し、課題を把握する取り組みが行われていました。このような取り組みは、運動能力の向上に有効だと感じました。

他方、タブレット操作に時間のかかる児童もみられました。学校現場においても、そうした児童が取り残さないよう、十分に支援してほしいと思います。

加納公民館 バリアフリー改修を

公民館のバリアフリー状況について質問しました。

現在、桶川公民館、桶川東公民館、川田谷公民館は、バリアフリーが十分とはいえないものの、多目的トイレが設置されています。また、近年改修された川田谷公民館には、ユニバーサルシートも設置されました。しかし、加納公民館には、多目的トイレすらありません。

市は、「施設が狭いため多目的トイレの設置が難しく、現在は男性用トイレ内に車椅子で入れるスペースを確保している」と説明しています。しかし、これでは、女性が使いづらいのはもちろん、オストメイト設備が必要な方は利用できません。

建物内への設置が難しいのであれば、外に多目的トイレを設置するなど、別の方法を検討することも可能なはずです。市は、多目的トイレの設置には利用状況を考慮する必要があると答えました。しかし、これでは「利用が少なければ設置しない」とも受け取れ、必要とする人への配慮を欠く答弁です。

加納公民館は、避難所にも指定されています。避難所には、平常時の利用状況だけではなく、災害時を含め、さまざまな方のニーズに対応できる環境が求められます。避難所となっている加納公民館を、このまま放置するという姿勢は改めるべきです。

加納公民館は、近い将来、大規模修繕等が行われるという具体的な予定もありません。いつになるかわからない大規模改修を待つのではなく、多目的トイレの設置に向け、早急に具体的な検討を進めるよう強く求めます。

浦田 充 @mitsuru287 @u_mitturu
各種SNSでも発信中！
＜浦田充（うらたみつる）＞
1992年桶川市生。デュシェンヌ型筋ジストロフィー
ひがし幼稚園卒園▶朝日小学校▶蓮田養護学校 ▶上尾高校卒業（教育長賞）▶立正大学法学部卒業（首席）。
2019年桶川市議会議員選挙初当選（最年少）。2023年再選。建設文教常任委員会委員。埼玉県央広域事務組合議員、同監査委員。
ホームページ
浦田充

第53号　2026年9月議会報告−1

うらた充 mitsuru urata
ともに生きる会
北村あやこ ayako kitamura

バリアフリーマスタープラン早期作成を

○道路
a.歩行空間
・「歩道改良実施計画（令和３年度改訂版）」に基づく歩道のバリアフリー化を推進します。
・バリアフリー整備に関する日頃の市民要望へ対応するとともに、バリア箇所を事前に予告するサインの設置や道路損傷等を通報できるアプリ（まちカメくん）や豊中市 LINE アカウントを引き続き運用します。
・幅員不足等により歩道設置が困難な道路での歩行者安全確保のため、路側帯カラー舗装やリブ式区画線整備といった様々な整備の可能性を検討します。
・「豊中市無電柱化推進計画」に基づく無電柱化を推進します。
・新たに整備する都市計画道路や駅前広場のバリアフリー化を推進します。



上記は、大阪府豊中市のバリアフリーマスタープランの中身です。市がここまでユニバーサルデザインを考えてくれたら、理想的です。

私は、初当選以来、桶川市にもこのようなバリアフリーマスタープランの作成を求めてきました。しかし、桶川市は、バリアフリー化の具体的な内容の記載がない、都市計画マスタープランなどで、バリアフリー化を謳っているので、バリアフリーマスタープランは作らないと主張し続けています。

駅東口再開発という作成にふさわしいタイミングに、策定を逃してしまったのは残念です。次の駅西口再整備こそは、バリアフリーマスタープランを作成すべきです。

バリアフリーマスタープラン作成には様々なメリットがあります。そのひとつが市のバリアフリー化の「本気度」を対外的に示し、施策を力強く推進できることだと考えます。プランを作成し特定エリアを「重点整備地区」とすることで、県警察との連携が必要な音響式信号機の整備や、国・県が管理する道路のバリアフリー化も一段と進みやすくなります。

しかし、これについて、市長の見解を問うと、「今後、県との協力が必要な事業はしっかり協議していく」という答弁にとどまり、提案の真意を十分受け止めていないと感じる結果となりました。

また、民間施設を含めた街全体の一体的なバリアフリー化にとっても、このマスタープランは不可欠です。プラン作成の過程で事業者との協議を行うこと自体が、民間側の意識改革につながるためです。

西口再整備の際には作成を検討するとの答弁を得ましたが、西口再整備に合わせて確実にマスタープランが策定されるよう、今後も粘り強く追及していきます。

変わらぬ市政浮き彫り

9月議会では、令和7年度の決算の審査を行いました。昨年度も多くの問題点があったため、反対しました。

ここからは令和7年度決算の問題点の一部を掲載します。

学校の緑まで減らすの？

愛宕東線の整備では、西小学校の敷地の一部が整備用地となっているため、その部分にあった遊具や樹木がすべて撤去されます。遊具は移設されますが、樹木は149本も伐採しますが、そのままです。

「とりあえず切ってから考える」という姿勢は大問題です。クビアカツヤカミキリなどの被害もあり、市内全体の樹木が減ってしまっている中で、樹木減少に拍車をかける行動はやめるべきです。

最終日に、今後の校庭の利用の状況を踏まえながら、CO2の削減、吸収のために植樹等については検討していきたい、と答えましたが、植樹を強く求めます。

文化振興にもっと予算を

ふるさと納税で文化振興にあててほしいと使いみちを指定した寄付が昨年度80万円ほどありました。毎年このような寄付が一定程度あるにもかかわらず、桶川市はこの財源を使っていません。文化振興にもっと積極的になれば、この財源を有効活用できます。ただ貯め込むだけでは、寄付者に対して失礼です。

新年度こそは活用していただきたいです。議会の市に対する指摘要望事項でも指摘しました。活用実績も寄付先を選ぶ際の重要な要素です。そのような視点も持っていただきたいと思います。

サンアリーナ、使用料減免の判断を

3月議会一般質問で提案していた障害者の個人使用料減免について、その後の検討状況を確認しましたが、まだ検討中とのことです。早く決断していただきたいです。

他にも、駅自由通路の東口エレベーターの緊急修繕が必要になるといったことや、新しい駅西口トイレの汚れが目立つなど、桶川市の管理不足の指摘も出ており、非常に問題です。

その他の事項は、2026年9月議会報告−2をご確認ください。



１２月議会は、１２／　１（火）開会予定です。
一般質問は、
浦田　充　12/10(木)
北村あやこ　12/11(金)
の予定です。
※議会傍聴席（市役所５階）、ライブ配信でご覧いただけます。